

2016

アクセス

春季授業

3月26日(土)～4月4日(月)



アクセスの春季授業

集中授業が実施できるこの春休みを利用して、新学年2～3月度カリキュラム内容の定着と、4月以降の学習への橋渡しを目的とした、春季授業を開講します。

【春季授業日程】

月	3月						4月			
日	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
4年生	①	②	③	休	④	⑤	まとめ テスト			
5年生	①	②	③	④	休	⑤	⑥	⑦	⑧	まとめ テスト
6年生	①	②	③	④	休	⑤	⑥	⑦	⑧	まとめ テスト

◎授業時間帯

I 9:30～10:50 II 11:00～12:20 III 13:00～14:20
IV 14:30～15:50 V 16:00～17:20

◎春季まとめテスト(全学年)／9時30分開始

【学年別：春季授業日程および会費一覧】

学年	受講期間	授業時間帯	会費	アクセス生会費 (兄弟割引)
4年生	3月26日～4月1日 の全6日間	9:30～12:20	26,460円	25,920円 (15,660円)
5年生	3月26日～4月4日 の全9日間	9:30～12:20	40,500円	39,640円 (23,220円)
6年生	3月26日～4月4日 の全9日間	13:00～17:20	59,080円	57,780円 (33,160円)

【春季授業：申込要項】

- ◇2月22日(月)から、申込受付を開始します。
- ◇アクセスでは事故防止の徹底などを理由に、会費の納入を銀行振込みでお願いしています。春季授業への参加を希望される方は、アクセスの教室窓口にて申込用紙をご記入の上、会費をアクセスの所定口座へ振込みしてください。
- ◇アクセスの期間授業は、どなたでも参加受講できますが、授業内容およびカリキュラムは通常授業に合わせてあります。学年により、学力別にクラス編成されています。上位クラスをご希望の方は、アクセスのオープンテストを受験されれば、受講クラスの目安をお出しいたします。もしくは、全国模試(四谷大塚・日能研・首都圏模試)を受験されているようでしたら、直近の答案用紙と成績表をご持参いただければ、お子様の学習状況に合わせたアドバイスやクラス目安をより丁寧にお答えできます。

4年生の春季授業～国語科

◎春季授業内容

第一回	場面と人物 部首・かなづかい・かかりうけ
第二回	場面と心情 慣用句・ことわざ①
第三回	場面と情景 慣用句・ことわざ②

学習のねらい

春季授業での取り組みのねらいは、二つあります。

- (一つめ) **読解**物語を読んで、場面や人物の気持ちをしっかりおさえる。
ストーリーを客観的に読むことの基本を学んでいきます。
- (二つめ) **語句・漢字**国語辞典や漢字辞典に親しむ。
調べることと憶えることを関連づけます。

授業の進め方、授業への取り組み方

授業では、文章の「読み取り」を中心に進めていきます。場面分けをしたり、文章における押さえるべきところに線を引いたりする作業を通して、文章への向き合い方を学びます。また、テキストには「漢字問題」「語句問題」がありますが、これら「憶えるもの」は家庭学習での取り組みになります。

家庭学習の取り組み方

- ①授業で学んだ文章を、声を出して読むこと。
 - ②先生に指定された問題を解くこと。
 - ③語句問題、漢字問題を学ぶこと。
- これらは、学習の三本柱です。①と②は、授業後の復習になります。③は、まとめテストまでに繰り返し学習できるのが望ましいですね。

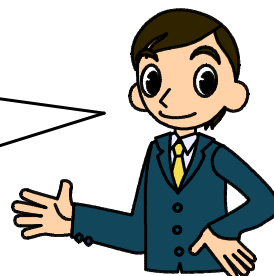
押さえるべきポイント

先生が「大切だよ」と言ったことを聞きのがさないようにしっかりじゅぎょうを聞こう！ また、じゅぎょうでとりくんだ文章は、おうちで声を出してしっかり読み直そうね。

春は、ノートをしっかりとることのスタートの時期だね。ていねいに書くことを心がけよう。

漢字は、三年生のふく習が中心だよ。しっかりれん習して満点をめざそう！

語句問題は、前期第5回で学んだ部首や、かなづかい、ことわざや慣用句（かんようく）を勉強だよ。くりかえして、きちんとおぼえよう！



4年生の春季授業～算数科

◎春季授業内容

第1回	計算の工夫、方陣算
第2回	植木算と等差数列
第3回	等差数列の復習と階差数列

学習のねらい

通常授業の第5回（計算の工夫、方陣算）、第4回（植木算）、第6回（等差数列、階差数列）の復習が春季授業のテーマです。なぜ、「方陣算」「植木算」を学習するのか？や、等差数列と階差数列の関係はどうなっているのか？、が分かると、問題も解きやすくなります。「等差数列」には、大きく分けて2通りの解き方がありますが、この春季授業では、そのうちの「植木算」を使って解く方法を、しっかり身につけるように指導していきます。

授業の進め方、授業への取り組み方

授業内では、例題とそれに続く練習問題を主に取り扱います。通常授業で書いたテキストの「たいせつなこと」の部分を読んでから授業に参加しましょう。通常授業でわかりづらかった部分を、この春季授業で確実にわかるようにすることが目標です。通常授業で「たいせつなこと」を書ききれなかった場合には、この春季授業で補足して完成させるとよいでしょう。

家庭学習の取り組み方

各回に家庭学習用練習問題が付いています。授業中に一部、取り扱う場合もありますが、家で復習する場合は全問復習するようにしましょう。わからない問題が出てきた場合は、まず春季授業のノートを見る、そして通常授業の「たいせつなこと」を見て学習し直しましょう。それでもわからない問題は授業中に、または授業前、授業後に積極的に質問をしましょう。その際、自分のできたところまでをノートに書いてから質問するようにしてください。質問した問題は必ず自分でやり直しをしましょう。

押さえるべきポイント

- 第1回計算の工夫、方陣算では、「もとの式をかく」「図をかく」ことを忘れずに！！
- 第2回植木算では、問題文を読むためにしっかりと「図をかく」ことを忘れずに！！
- 第3回等差数列、階差数列では、「数列に順番をつけること」を忘れずに！！
通常授業の「たいせつなこと」をよく見てから授業に参加しよう！！



4年生の春季授業～社会科

◎春季授業内容

第一回	地形図の読みとり
第二回	都道府県と都道府県庁所在地

学習のねらい

- ・春季授業は、新しい単元を学習するのではなく、今まで学習した内容の知識や理解を定着させるのがねらいです。
- ・新4年生として学習した、「地形図の読みとり」と「47 都道府県」について、復習します。

授業の進め方、授業への取り組み方

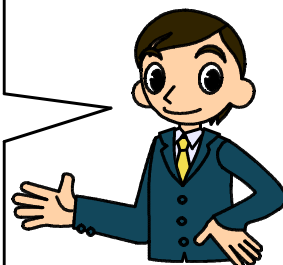
- ・テキストは、「解説」と「問題演習」で構成されています。授業は、地図帳やテキストを利用し、復習中心に進めていきます。
- ・地図帳に印をつけながら、都道府県や都市の位置を確認することと、テキストに載っている地図の内容を理解するように、授業を受けてください。

家庭学習の取り組み方

- ・授業でやった内容を復習するとともに、テキストの「問題演習」が家庭学習です。
- ・都道府県について、少しでも親しんでもらうため、テキストの中に、「やってみよう」というページがあります。テキストの地図を見ながら、やってみましょう。
- ・地理の勉強では、地図帳をどれだけ活用したかで、理解の度合いがかなり違ってきます。授業中に指示された所を確認することは当然ですが、家族で旅行した所など、できるだけ地図帳を見る習慣を身につけることが大切です。

押さえるべきポイント

- ・第1回は、8方位・縮尺・等高線・地図記号について、理解を深めましょう。特に、地図記号の代表的なものは、その成り立ちをふくめて理解しておくことが大切です。
- ・第2回は、47都道府県の名前と位置、それぞれの都道府県庁所在地について、理解を深めましょう。ただし、春季授業中に47都道府県と都道府県庁所在地を、すべて身につける必要はありません。旅行などを通して自分が経験したり、問題に出てきた都道府県から、少しずつでも身につけるようにしましょう。



4年生の春季授業～理科

◎春季授業内容

第1回	季節と生物
第2回	種子のつくりと発芽

学習のねらい

- ・第1回 季節が変わると、生物の活動にも変化が見られるようになります。自分の身の周りのものを観察する姿勢を持ってもらうことがねらいです。
- ・第2回 2・3月に学習した内容の復習です。問題演習を通して基本事項の定着を図ります。

授業の進め方、授業への取り組み方

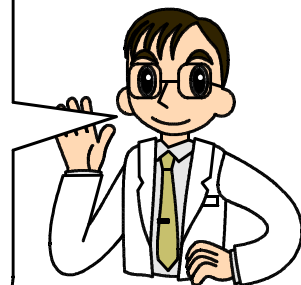
授業自体は、解説→問題演習となります。自分の身近な生活の場にあるものや、一度学習したことの復習となりますので、授業内容は比較的理解しやすいと思います。先生が板書したことがらを、しっかりとノートに取るようにしましょう。

家庭学習の取り組み方

ノート・テキストなど使いながら、授業でやったことの確認をしっかりとしてください。「問題演習」について分からない問題も当然出てきます、そのような場合は答えを見るまえに、まずは自分で調べるようにしてください。それでも分からないときは遠慮なく質問に来てください。

押さえるべきポイント

- ・第1回は、季節による生物の変化がテーマです。机上の学習だけでは身に付かないところです。理科を身近なものとしてとらえてほしい時期でもあります。たとえば、サクラを見たら、花のつくりや樹皮が他の植物とどう違うのかなど、色々と調べる姿勢を持ってください。
- ・第2回は、2・3月に学習したことの復習です。知識としては当然持っている単元ですが、意外に忘れやすいものです。この機会に、もう一度知識の整理をしてください。



5年生の春季授業～国語科

◎春季授業内容

第一回	心情の変化と把握
第二回	場面構成と主題
第三回	文脈把握 1
第四回	文脈把握 2

学習のねらい

各回共に、読解総合問題二題と漢字問題・語句総合問題という構成になっています。読解総合問題で扱う素材文は、第一回・第二回が「物語文」で、第三回・第四回が「説明的文章」です。「物語文」においては、場面展開にともなう心情の変化をおさえ、文章の主題をとらえることを中心にした学習をします。また、「説明的文章」においては、話題をおさえ、その話題に関する内容を、文章の流れに沿ってとらえることを中心に学習していきます。

授業の進め方、授業への取り組み方

授業においては、「読解総合問題」を中心に進めていきます。「漢字問題」と「語句総合問題」は、基本的に家庭学習での取り組みになります。授業内における作業が何のためのものなのか、何を身に付けるためのものなのかを意識して取り組むことが大切です。読解における注意すべきポイントや、問題における答えに至る道筋をとらえることに主眼を置いてください。

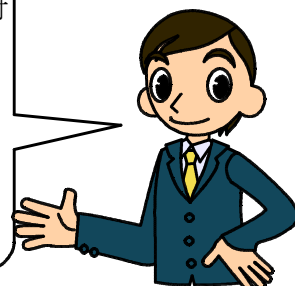
家庭学習の取り組み方

授業の復習中心の学習をしてください。授業で扱った文章や問題（読解における注意すべきポイントや、問題における答えに至る道筋）の確認をし、その定着を図ることが大切です。また、やって欲しい問題に関しては指示が出されますので、しっかり取り組んでください。

「漢字問題」と「語句総合問題」に関しては、間違った問題にはチェックをし、クリアできるまではくり返し、取り組むようにしてください。

押さえるべきポイント

- ※ 文章に線を引く習慣を身に付けよう。
そのためは、文章をどう読むべきかー読解方法ーを身に付けることが大切です。
- ※ 文章読解から問題へのスムーズな移行を目指そう。
問題を解く際は、読み取った内容を基に、問題を考えよう。
- ※ 意味をふくめて漢字は覚えよう。
意味のわからない言葉は必ず辞書で調べよう。



5年生の春季授業～算数科

◎春季授業内容

第1回	約数、公約数
第2回	倍数、公倍数
第3回	小数、分数の計算
第4回	数列と規則性

学習のねらい

前期通常授業の復習です。第3回の「小数分数の計算」を自由自在にできるように、第1回・第2回の「約数、公約数」「倍数、公倍数」を復習していきます。4年生の時と違って、第4回の「数列」は「倍数」を使って解く解法を学習します。

授業の進め方、授業への取り組み方

授業では、例題とその後にある演習を主に取り扱います。回数によっては、各回に付いている練習問題も授業中に練習することになります。通常テキストの「大切なこと」の部分とノートをよく読み、授業に参加するようにしましょう。最低1～100の間にある素数はすべてあげられるようにしてから春季授業に臨んでください。

家庭学習の取り組み方

通常授業のテキストで、やり残している問題が学習計画表上でわかるようになっていきますか？春季授業のテキストで指示された練習問題と、通常授業でやり残しているA、Cレベルの問題をしっかりとやってみましょう。わからない問題があった場合、ノートに自分ができたところまでを書き、その上で、授業中や授業の前後に質問をしましょう。通常授業のテキストにあるS問題は「余裕のある算数好きな人のため」に用意したものです。A・C問題を余裕をもってこなせたら、S問題のやり残しにも挑戦してみてください。余裕のない場合には、春季授業で指示された練習問題と通常授業のA問題を確実にしてください。

押さえるべきポイント

第1回約数、公約数では、約数の探し方、約数の個数の求め方、素因数分解の練習、最大公約数の求め方が大切。

第2回倍数、公倍数では、倍数の個数、最小公倍数の求め方、最大公約数と最小公倍数の関係の理解が大切。

第3回小数分数の計算では、最大公約数を利用した約分の仕方、最小公倍数を利用した通分の仕方、差分の考え方が大切。

第4回数列と規則性では、「倍数」を利用した等差数列の一般項の求め方が大切。

4年生の時は、主に、等差数列の一般項を求めるのに「植木算」の考え方を利用しました。

このことも、あわせて復習できると等差数列に対する理解が深まりますよ。

約分しない計算の答えは、×になるよ。注意！



5年生の春季授業～社会科

◎春季授業内容

第一回	東北地方の自然と産業
第二回	北海道地方の自然と産業
第三回	日本の農業（Ⅰ）
第四回	日本の農業（Ⅱ）

学習のねらい

- ・春季授業は、新しい単元を学習するのではなく、今まで学習した内容の知識や理解を定着させるのがねらいです。
- ・4年後期で学習した地方別地理の中から、東北地方と北海道地方の自然・農業・工業について確認します。また、新5年前期で学習した産業別地理の中から、農業（稲作・畑作・畜産業・農業の問題点）について確認します。

授業の進め方、授業への取り組み方

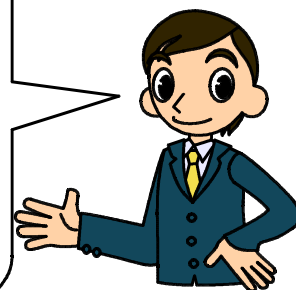
- ・テキストは、「解説」と「問題演習」で構成されています。授業は、地図帳やテキストを利用し、復習中心に進めていきます。
- ・地図帳に印をつけながら、地形や都市の位置を確認することと、テキストに載っているグラフの意味を理解することを心がけて、授業を受けてください。

家庭学習の取り組み方

- ・授業でやった内容を復習するとともに、テキストの「問題演習」が家庭学習です。
- ・地理の勉強では、地図帳をどれだけ活用したかで、理解の度合いがかなり違ってきます。授業中に指示された所を確認することは当然ですが、家族で旅行した所など、できるだけ地図帳を見る習慣を身につけることが大切です。

押さえるべきポイント

- ・第1回は、東北地方の地形・農水産業の特色・伝統工業について、理解を深めましょう。
- ・第2回は、北海道地方の地形・農水産業の特色・工業都市について、理解を深めましょう。
- ・第3回は、稲作や畑作の特色・さかんな都道府県・問題点について、理解を深めましょう。
- ・第4回は、畜産業の特色・さかんな都道府県や問題点・日本の農業の問題点について、理解を深めましょう。



5年生の春季授業～理科

◎春季授業内容

第1回	力学演習1 ばねの性質
第2回	力学演習2 てこのつりあい
第3回	力学演習3 ばねとてこの組み合わせ
第4回	植物の生活

学習のねらい

新5年で学習した「力」、「植物」についてもう一度学習をすることで、理解出来ていない部分を確認し、今まで以上の定着を図ります。

授業の進め方、授業への取り組み方

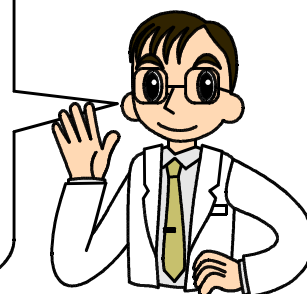
授業では、復習が中心となるため問題演習にほとんどの時間をつかいます。新しい単元を学習するものではありません、今までの復習になりますから、自分の理解できていない部分を確認した上で授業に参加して下さい。覚えることではなく、持っている知識をどのように使うかがポイントですから、自分が春季で何を定着させるのか目的意識を持って授業に参加してください。

家庭学習の取り組み方

毎回、問題演習から宿題を出します。宿題をやる前に、必ず授業で学習した問題をもう一度解いてからやるようにして下さい。分からない問題は決してそのままにしないで、塾で質問を必ずして理解・定着させてください。

押さえるべきポイント

- ・ばねにかかる力・ばねの伸び・自然長・ばね全体の長さをしっかりと表やグラフから読み取ること。
- ・てこがつり合っているときの回転力がどうなっているのか。また、支点にかかる力の大きさがいくらなのか理解すること。



6年生の春季授業～国語科

◎春季授業内容

第一回	説明的文章①	第四回	物語①
第二回	説明的文章②	第五回	物語②
第三回	説明的文章③	第六回	物語③

学習のねらい

第1回：話題と段落の構成

第2回：対照内容に着目する

第3回：具体例と要旨

第4回：心情の流れと場面構成

第5回：心情の流れと人物像

第6回：主題と暗示

説明文および物語文の、基本的な要素について学習します。アクセス国語科の「らせん型カリキュラム」に基づき、既習の内容を一層高度にした内容となります。

授業の進め方、授業への取り組み方

授業は読解問題が中心になります。

文章における押さえるべきポイントはどこなのか、そしてそれをふまえ、問題をどう読み解くかをとらえます。入試では正確かつ迅速に文章読解をすることが求められますが、授業でやるこのような読解をふまえた問題演習は、そのまま入試で受験生がしなければならぬことにほかなりません。

家庭学習の取り組み方

- 1 読解の復習。授業中に書き込みをした文章の読み直しをします。
- 2 設問の復習・演習。授業中に扱った設問の解き直しをします。また宿題として指示された設問を解きます。
※上記1・2は当日の夜または翌日の午前中(文章の内容を忘れないうち)にしておきましょう。
- 3 文法、漢字などの知識問題は基本的に家庭学習です。

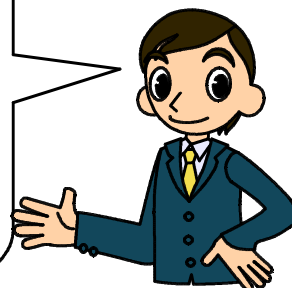
押さえるべきポイント

授業：ともかく集中！ 興味深い文章ばかりです。楽しくがんばりましょう！

読解の復習：内容を確認し、より深い理解を得られるようにするのが目的です。

設問の演習：これは各自答え合わせをすることになるので、不明な点は休み時間中にでもどしどし質問してください。

知識問題の家庭学習：通室生には復習ばかりになります。知識分野は早期に完成しなければなりません。春季授業から参加されている皆さんにはやや難しい内容かもしれません。遠慮なく質問に来てください！



6年生の春季授業～算数科

◎春季授業内容

第1回	論理と推理	第4回	差集め算
第2回	場合の数	第5回	つるかめ算
第3回	n進数	第6回	過不足算

学習のねらい

受験生として必須で、少し難解な分野の学習と特殊算法の理解を深めることがこの春季授業の目標です。

授業の進め方、授業への取り組み方

テキストは、各回とも例題と練習問題の構成です。授業中は例題の演習と解説が中心です。一部の練習問題を取り扱うクラスもあります。クラスによって取り扱う問題に違いがあります。自宅で4・5年生時のテキストを開き、各分野でどのくらい問題をやり残しているかを確認してから授業に参加するとよいでしょう。

家庭学習の取り組み方

各クラスの担当の先生の指示に従ってください。算数が得意な生徒のためはかなり難しい問題がテキストには含まれています。したがって、全問やろうとしてもなかなかやりきれないと思います。指示された問題をしっかりチェックして、その問題を中心に学習しましょう。少し余裕のある人は4・5年時の通常テキストでやり残している基本問題があれば、やってみましょう。いずれにしても担当の先生の指示に従ってください。各分野の今までの学習計画表を見ながら、春季授業で扱う分野の中で、自分の苦手なところをきちんと把握し、克服していく努力をしましょう。

押さえるべきポイント

第1回～第3回は難しいぞ！

授業中にやったことを復習することが中心。

第4回～第6回は基本的！

入試でも頻出分野なので、ここでの理解不足は致命的！

基本的な問題は、よく理解してしっかり解けるようにならないと入試で得点できないよ！

論理推理では、よく問題を読んで、条件を整理しよう！

n進数・・・n個の記号を使って数を表す方法だよ。



6年生の春季授業～社会科

◎春季授業内容

第一回	近世（Ⅰ）江戸時代Ⅰ	第四回	近代（Ⅱ）明治時代Ⅱ
第二回	近世（Ⅱ）江戸時代Ⅱ	第五回	近代（Ⅲ）大正・昭和時代Ⅰ
第三回	近代（Ⅰ）明治時代Ⅰ	第六回	現代－昭和時代Ⅱ

学習のねらい

- ・春季授業は、新しい単元を学習するのではなく、5年後期に学習した歴史分野の知識や理解を定着させるのがねらいです。
- ・江戸時代から昭和時代までの歴史を確認します。歴史上の人物や出来事が、それぞれ何時代なのかを、区別できるようになることが大切です。

授業の進め方、授業への取り組み方

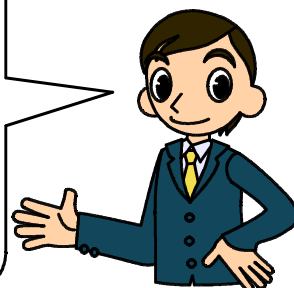
- ・テキストは、「解説」と「問題演習」で構成されています。授業は、歴史資料集やテキストを利用し、復習中心に進めていきます。
- ・歴史資料集に印をつけながら、各時代の人物や文化の内容などを理解することを心がけて、授業を受けてください。

家庭学習の取り組み方

- ・授業でやった内容を復習するとともに、テキストの「問題演習」が家庭学習です。
- ・歴史の勉強では、歴史資料集をどれだけ活用したかで、理解の度合いがかなり違ってきます。授業中に指示された所を確認することは当然ですが、各時代の出来事に関連するページを見る習慣を身につけることが大切です。また、人物名や出来事の名前を、ただながめているだけでは、身につけません。何度も書いて覚えることが必要です。

押さえるべきポイント

- ・第1回は、3代将軍の徳川家光が行ったさまざまな政策（武家諸法度・慶安の御触書・鎖国政策など）や江戸時代の文化（元禄文化・化政文化など）について、理解を深めましょう。
- ・第2回は、三大改革の内容と開国以後の江戸幕府のうつりかわりについて、理解を深めましょう。
- ・第3回と第4回は、明治維新から立憲国家の成立までのさまざまな改革、外国との関係（日清戦争・日露戦争・条約改正など）について、理解を深めましょう。
- ・第5回は、大正時代から昭和時代までの外国との関係（第一次世界大戦・満州事変・日中戦争・太平洋戦争など）について、理解を深めましょう。
- ・第6回は、戦後の民主化から高度経済成長、戦後の世界の流れについて、理解を深めましょう。



6年生の春季授業～理科

◎春季授業内容

第1回	植物総合	第4回	熱と物質の変化
第2回	天体	第5回	力学総合1
第3回	音・光	第6回	力学総合2

学習のねらい

5年後期で学習した内容と、2・3月で学習した内容の復習となります。知識が中心となっている単元では、定着していない部分の確認をし、数量が中心の単元では理解出来ていない問題を自分のものにするのがねらいです。

授業の進め方、授業への取り組み方

知識が中心となる単元では講義を中心とし、生徒の定着度を確認しながら授業を進めていきます。忘れていることが多いと効果的ではありませんので、単元についての知識を一度確認してから授業に参加しましょう。また、数量が中心となる単元では問題演習を中心に授業を進めていきます。自分が理解出来ていない問題は、これを機会にしっかりと理解できるようにしましょう。目的意識を持って授業に参加してください。

家庭学習の取り組み方

毎回問題演習から宿題を出します。宿題をやる前に、必ず授業で学習した内容と問題をもう一度まとめてからやるようにして下さい。分からない問題は、決してそのままにしないで、塾で質問を必ずして理解・定着させてください。

押さえるべきポイント

- ・第1回植物では、断片的な知識を得るのではなく、植物全体の流れが理解出来るようにしましょう。
- ・第2回天体では、地球の公転・自転によって起こる現象の違いと、月の満ち欠けがなぜ起こるのかを定着させてみましょう。
- ・第3回音では、高低・強弱にいて、光についてはその性質から起こる現象を理解しましょう。
- ・第4回熱では、熱の伝わり方や、熱の移動にともなう物質の状態変化について定着させましょう。
- ・第5・6回力学総合では、自分では解けなかったが授業で理解出来た問題は、必ずもう一度自分で解きましょう。

